

世界から核兵器をなくそう！ヒバクシャの訴えを広げよう！

# ヒバクシャ国際署名連絡会宮城

2018年  
2月28日発行  
ニュース No.05  
<発行責任者>  
宮城県原爆被害者の会

唯一の戦争被爆国としての核兵器廃絶の役割を

## 郡和子仙台市長も賛同！！

2月5日（月）、郡和子仙台市長に連絡会宮城として署名要請を行い、宮城県原爆被害者の会（はぎの会）の木村緋紗子事務局長が被爆体験を伝えるとともに署名への協力をお願いしました。

郡市長からは「仙台にも被爆2世・3世も含め多くの被爆者がいらっしゃる。国連や海外でも被爆者の方が体験談を話されていることが、核廃絶運動の大きな力になっている。お体が大変な中、頭が下がる思いでいる。トランプ大統領が『小さな核兵器』について言及していることへの怒りの思いは共有して、核廃絶は人類の目指すべき姿なので、署名をしっかりと国連に届けてほしい」と話され、署名に賛同をいただきました。

国際的世論も高まっている中、核保有国と日本をはじめとする同盟国が、この核兵器禁止条約を批准するかどうかは、今年の大きな課題です。多くの署名で後押しをしていくことが大事です。

宮城県の自治体市町村長への署名賛同要請訪問では、35市町村のうち32市町村長から署名に賛同いただいています。

全国の署名賛同自治体数は、1,015市町村長（20の県知事を含む）になります（2018年1月8日現在）。



賛同署名を手にする郡市長と、「はぎの会」「連絡会宮城」のメンバー



### ヒバクシャ国際署名はどこに届くの？

平均年齢 80 歳を超えたヒロシマ・ナガサキの被爆者が、世界の人々に署名を呼びかけています。世界中の人々の「核兵器はいらない」の声を、国連総会に 2020 年まで毎年署名を届けます。世界では億単位、宮城県は 100 万筆を目指しています。

### 宮城県原爆被害者の会

広島・長崎で原爆の被害を受けた被害者の生存者によって都道府県ごとに結成されています。宮城県は宮城県原爆被害者の会「はぎの会」があり被爆者は 129 人です。追悼平和式典や原爆被害の写真展、ニュースの発行、語り部など活動しています。

### 署名が世界を変える

昨年 7 月に、国連では核兵器の使用を禁止する条約が採択されました。核保有国と日本など同盟国が、この条約の批准に向けて引き寄せることができるかは、世界的な圧倒的世論を示すことができる、このヒバクシャ国際署名です。

ヒバクシャ国際署名連絡会宮城

# 発足1周年記念 講演会のお知らせ

日時 2018年3月10日(土) 10:00~12:00

会場 仙台市福祉プラザ11階・第1研修室



ヒバクシャ国際署名連絡会宮城 発足1周年記念

## 田中 熙巳さん 講演会

「ノーベル平和賞受賞から  
見えてきたこと

～ヒバクシャ国際署名こそ条約の推進力～

昨年、ノーベル平和賞がNPOFICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)に贈られました。授賞式には被爆者も招待され、日本原水爆被害者団体協議会(被団協)の田中熙巳(たなかてるみ)さんも参加されました。被団協は長年ノーベル平和賞にノミネートされているのに、受賞を逃しています。また、ようやく国連で核兵器禁止条約が採択されたにもかかわらず、日本政府は批准を拒否しています。授賞式に参加されて、田中さんはどのように感じられたのか、また禁止条約を実効あるものにするために必要なことは何なのかなど、お話していただきます。

連絡会のこの1年間の活動も振り返ります。ぜひ多くの皆さんに参加していただき、被爆者とともに核兵器のない世界を目指しましょう!



3月10日(土) 10:00~12:00

仙台市福祉プラザ 第1研修室

- \* 参加費 無料
- \* どなたでも参加できます

主催:ヒバクシャ国際署名連絡会宮城

問い合わせ先 事務局 木村 022-243-2158

《ヒバクシャ国際署名連絡会宮城》

署名数 (2017年11月現在)

# 78,666 筆

ヒバクシャ国際署名連絡会宮城の署名活動に参加する団体は**32**、個人は**57**となりました。

これからの活動

➤ 「連絡会宮城」発足1周年記念講演会  
2018年3月10日(土) 10:00~12:00  
講師/日本被団協代表委員 田中熙巳さん

➤ 街頭署名活動  
2018年3月26日(月) 12:00~13:00  
平和ビル前において

次回の国連提出の締切り

2018年9月まで

お知らせ



《ヒバクシャ国際署名連絡会宮城》

代表:宮城県原爆被害者の会「はぎの会」事務局

連絡先/木村方 TEL: 022-243-2158